

週刊

こんにちは日本共産党です
八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎(752)0453 小林えみ子 ☎(482)5451

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

☎(483) 1151

■■■■■■■■■■ 2013年度（平成25年度）決算に不認定 ■■■■■■■■■■

日本共産党は9月議会の総括審議で、2013年度（平成25年度）決算に不認定の討論を行いました。

前豊田市長から秋葉市長へ変わり「ハコモノ大幅見直し」の公約を裏切り、新川周辺都市整備計画を踏襲、建設を実行した2013年度（平成25年度）は、決算の数字からみれば、いくつかの指標で好転していることがうかがえます。その一方で公債費負担比率は警戒ラインの15%を超えて15.7%、財政力指数も0.91と低くなっています。

また、23億円の不用額（予定していたが運用しなかった金額）を生み出したことを市はどのように分析しているか「予算の立て方、見積もりが悪かったのか、市民サービスを削減、抑え込むことが無かったか」を質問しました。

財政部：地域の元気臨時交付金が予想より多かった。国民健康保険の赤字補てん分が必要なくなったため。

以上のような回答がありました。日本共産党は、国民健康保険料について「払いたくても払えない世帯が多くある」ことから、約5億円のうちの3億円の繰入金を活用すれば1世帯当たり1万円の引き下げは可能だった」と指摘しました。



■■■■■■■■■■ 住民要求を反映し、いくつかの成果も ■■■■■■■■■■

一つ一つの施策から見ると「食品の放射能測定器」を導入、市民に学校プールを開放するなど、要望した内容で実現できたものがいくつかありましたから、それらは評価します。

しかし、子育て世代が利用する学童保育所、フリーパレットについては、子どもの成長に沿った扱いになっていない点を指摘しました。

学童保育所・・・正規の指導員がいない学童保育所は23施設中12施設

フリーパレット・・・そもそもは中・高校生の居場所。現在は郊外型放課後子ども教室として小5学年～高校生まで利用（しかし、中・高生だけの利用時から見ると1000人も利用者は減少しています）

■■■■■■■■■■ 台風26号による災害による対策は不十分 ■■■■■■■■■■

台風26号の被害と大雪の被害では、各地域の被害状況を吸い上げて、来年度に生かす流れにはなっていません。災害対策の財源補強がされていないことなどを理由に決算には不認定の立場で討論しました。